



令和5年5月号 下忍小学校だより

下忍小タイムズ

【学校教育目標】 自ら学び やさしく たくましく

【目指す学校像】 みんなでつくる 笑顔輝く あたたかな学校

〒361-0037 行田市大字下忍 2451 番地 TEL:048-556-2404 児童数:83名

ちから

「あいさつ」の力

平井 薫

《4月25日(火) 全校朝会・講話より》

始業式と入学式で児童の皆さんにお話しした3つのお願いを覚えていますか。「明るいあいさつをする」「人の目を見て話を聞く」「あたたかい言葉を遣う」の3つです。

さて、今月の生活目標は「自分から進んであいさつと返事をしよう。」です。今日までに「自分から進んであいさつと返事」ができている人はどのくらいいるでしょうか。皆さんがあいさつしてくれると、私はとても嬉しいし自然と笑顔になって温かい気持ちになります。笑顔や温かい気持ちは伝染します。返事もはっきり言えると聞いたほうもさわやかな気持ちになります。あいさつも返事も自分から進んですると、よいことがたくさん起こります。

アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷選手は、高校1年生の時、プロ野球選手になるという夢を実現するために必要なものとして、「技術」だけでなく「心を磨くこと」をあげていました。そのひとつが「あいさつ」です。「あいさつすることで周りの人を笑顔にすることができる」と考えたのです。「あいさつ」以外に「ゴミ拾い、道具を大切に使う、本を読む、部屋そうじ、思いやり、感謝」など、野球とは直接関係がないように思えることを夢の実現のために必要なものと考え行動しました。皆さんが知っているように大谷選手は夢を叶えプロ野球選手となり、今はアメリカでプレーし3月の野球世界大会では日本代表として大活躍しました。「あいさつ」には周りの人を笑顔にして温かな気持ちにしてくれる力があります。学校の中だけでなく、日頃お世話になっている地域の方々にも、自分から進んであいさつできる人がどんどん増えてくればよいと思います。そして、みんなで笑顔輝くあたたかな学校をつくっていきましょう。

できるときに できることを 少しずつ

「下忍小周辺をきれいにする会」(自治会長を中心とした組織)の皆様が年3回(第1回3月頃、第2回6

月頃、第3回11月頃)学校周辺の花壇に花を植え除草をしてくださっています。日頃、教職員中心に校内の除草をしてきましたが、今年度は「下忍小周辺をきれいにする会」の活動実施日と同日に校内の除草を予定しています。

保護者の皆様におかれましても、ご都合のつく時間の範囲内でご協力いただけますと幸いです。後日、児童を通して日程等の詳細をお知らせいたします。今年度、下忍小学校は、「学校環境緑化コンクール」参加年となっております。

「できるときに できることを 少しずつ」 ご協力をお願いします。

★児童の様子等をホームページで紹介します。「行田市立下忍小学校」で検索、または、右側のQRコードを読み取ってご覧ください。



QRコード